



## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2702 URL <http://www.mcd-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 原 田 泳 幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部上席部長 (氏名) 重 田 正 教 (TEL) 03-6911-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	146,366	△1.2	11,895	△19.0	12,294	△14.7	7,018	18.7
23年12月期第2四半期	148,118	△9.5	14,678	0.3	14,419	1.3	5,910	186.1

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 7,082百万円(119.7%) 23年12月期第2四半期 5,914百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	52.78	—
23年12月期第2四半期	44.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	215,052	164,880	76.6
23年12月期	222,029	161,787	72.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 164,719百万円 23年12月期 161,631百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	0.9	29,400	4.3	28,400	2.9	16,000	20.3	120.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	132,960,000株	23年12月期	132,960,000株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	703株	23年12月期	703株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	132,959,297株	23年12月期2Q	132,959,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は、概ね終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、東日本大震災後の内食及び中食志向の高まりによる外食市場の縮小等、当社グループにとって厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは引き続きQSC（信頼の品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境）をベースとして、Value for Money を包括的に高める商品戦略、大型ドライブスルー中心の店舗開発戦略を実施しました。また、一般管理費の抜本的見直しも継続して行い、投資効率の高い支出に経営資源を集中する等、一層の経営管理に努めました。

#### <商品戦略>

外食市場が縮小する中、新しくなったプレミアムローストコーヒー、プレミアムローストアイスコーヒーの無料サンプリングの実施や、チキンクリップの投入をはじめとした100円マックのメニューのリニューアル、250円コンビ、500円バリューセットを展開する等、Value for Moneyを包括的に高めるためのバリューキャンペーンを強化し、既存店顧客数が前年同期比2.7%増加しました。また、Big Americaシリーズや、てりたまバーガー、チキンタツタなど定番の人気商品に加え、6月には新商品のビッグチキン、トマトビッグチキンを販売し、安定的な売上高獲得に努めました。

#### <店舗開発戦略>

収益性の高い郊外型の大型ドライブスルー店舗を中心に新規出店を行いました。既存店についても厨房のキャパシティを拡大し、全ての商品が高い品質でお客様に提供するための基盤作りを進めました。また、お客様のお気に入りの食事の場となるよう店舗のデザインはグローバルデザインを取り入れ、集客力の高い店舗作りを実施しました。

#### <フランチャイズ化戦略>

日本マクドナルドシステム全体の投資戦略に基づき、フランチャイジーのキャッシュ・フローの状況を勘案した上で、適切なスピードで推進しました。また、投資計画に対する適切なコンサルティングを通じて、フランチャイジーのキャッシュ・フローの向上に努めました。

#### <経営成績>

上記の結果、既存店売上高は対前年同期比で1.6%減少したものの、システムワイドセールスは主に大型ドライブスルー店舗を中心とした新店舗による売上高増が貢献し、前年同期比で25億30百万円増加（前年同期比1.0%増加）しました。一方、売上高は1,463億66百万円となり、対前年同期比で17億51百万円減少しました。経常利益につきましては、下半期に向けたマーケティング戦略及びクルーへの投資、ならびに店舗運営事業売却益の減少等により、122億94百万円（前年同期比21億24百万円減少）となりました。四半期純利益は前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額や、東日本大震災に伴う災害損失、及び災害損失引当金繰入額がないことから、70億18百万円（前年同期比11億7百万円増加）となりました。

（注） 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の合計売上高です。

（注） システムワイドセールスは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高と一致しません。

なお、店舗数につきましては下記のとおり推移しました。

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行(注)		当第2四半期 連結会計 期間末
				増加	減少	
直営店舗数	1,269店	14店	△9店	8店	△34店	1,248店
フランチャイズ 店舗数	2,029店	16店	△20店	34店	△8店	2,051店
合計店舗数	3,298店	30店	△29店	42店	△42店	3,299店

(注) 上記区分移行には、BFLエクササイズにより売却した店舗を含んでおりません。

BFLエクササイズとは、BFL契約(Business Facilities Lease契約；フランチャイジーが日本マクドナルド株式会社から店舗及び設備等を賃借して店舗運営を行う契約形態)のフランチャイジーが、日本マクドナルド株式会社へ申請することにより、同社の審査を経てコンベンショナル契約(フランチャイジーが店舗用設備を購入して店舗運営を行う契約形態)へ移行することです。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は787億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億81百万円の減少となりました。これは主に、売掛金が27億24百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,363億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億95百万円の減少となりました。これは主に、ソフトウェアの減価償却等により無形固定資産が17億62百万円、敷金及び保証金の回収等により投資その他の資産が20億6百万円減少したことによるものであります。

流動負債は388億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億80百万円の減少となりました。これは買掛金が18億6百万円、未払金が20億63百万円、未払法人税等が19億18百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は112億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億10百万円の増加となりました。これは賞与引当金が1億57百万円増加したこと等によるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し、10億24百万円増加し、631億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、91億35百万円(前年同期比109億39百万円の減少)となりました。これは主に、前年同期に比べ法人税等の還付額が34億60百万円減少したことや、法人税等の支払額が63億68百万円増加したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、36億95百万円(前年同期比8億41百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が13億87百万円減少したことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、44億18百万円(前年同期比95百万円の増加)となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が91百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の通期の業績予想につきましては、平成24年2月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,433	38,457
売掛金	10,267	7,542
有価証券	33,697	24,697
原材料及び貯蔵品	1,101	1,118
その他	7,820	6,922
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	81,307	78,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,461	36,686
機械及び装置（純額）	8,041	7,425
工具、器具及び備品（純額）	4,915	4,316
土地	17,383	17,383
リース資産（純額）	3,790	3,848
建設仮勘定	326	632
有形固定資産合計	70,919	70,292
無形固定資産		
のれん	963	884
ソフトウェア	7,719	6,036
その他	757	757
無形固定資産合計	9,440	7,677
投資その他の資産		
敷金及び保証金	52,118	51,068
その他	9,029	8,003
貸倒引当金	△785	△715
投資その他の資産合計	60,362	58,356
固定資産合計	140,721	136,326
資産合計	222,029	215,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,487	6,681
未払金	19,071	17,008
未払法人税等	6,940	5,021
賞与引当金	1,848	577
災害損失引当金	189	175
その他	12,526	9,418
流動負債合計	49,064	38,883
固定負債		
長期借入金	500	500
賞与引当金	115	272
退職給付引当金	1,727	1,765
役員退職慰労引当金	192	189
資産除去債務	4,776	4,772
その他	3,866	3,787
固定負債合計	11,178	11,288
負債合計	60,242	50,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	100,477	103,506
自己株式	△1	△1
株主資本合計	166,713	169,743
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△5,082	△5,023
その他の包括利益累計額合計	△5,082	△5,023
少数株主持分	155	160
純資産合計	161,787	164,880
負債純資産合計	222,029	215,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	148,118	146,366
売上原価	116,942	117,173
売上総利益	31,175	29,193
販売費及び一般管理費	16,497	17,298
営業利益	14,678	11,895
営業外収益		
受取利息	92	133
未回収商品券収入	87	60
受取補償金	24	34
受取保険料	—	276
貸倒引当金戻入額	—	17
その他	194	152
営業外収益合計	398	674
営業外費用		
支払利息	46	49
貸倒引当金繰入額	56	0
店舗用固定資産除却損	494	160
その他	59	64
営業外費用合計	657	275
経常利益	14,419	12,294
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
移転補償金	56	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
固定資産除却損	97	100
固定資産売却損	17	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,014	—
災害損失引当金繰入額	421	—
災害による損失	797	—
特別損失合計	4,349	103
税金等調整前四半期純利益	10,129	12,191
法人税等	4,214	5,168
少数株主損益調整前四半期純利益	5,914	7,022
少数株主利益	4	4
四半期純利益	5,910	7,018

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,914	7,022
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	59
その他の包括利益合計	—	59
四半期包括利益	5,914	7,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,910	7,077
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,129	12,191
減価償却費	5,867	5,980
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△449	—
その他の引当金の増減額(△は減少)	△702	△1,161
未回収商品券収入	△87	△60
受取利息	△92	△133
支払利息	46	49
固定資産除却損	383	142
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,014	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,807	2,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	217	△16
フランチャイズ店舗の買取に係るのれんの増減額(△は増加)	133	78
その他の資産の増減額(△は増加)	△354	365
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,378	△1,806
未払金の増減額(△は減少)	△2,536	△2,177
未払費用の増減額(△は減少)	△872	△1,381
その他の負債の増減額(△は減少)	1,496	△206
その他	71	△48
小計	15,692	14,541
利息の受取額	17	52
利息の支払額	△42	△37
法人税等の支払額	△680	△7,049
法人税等の還付額	5,088	1,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,075	9,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,121	△5,459
有形固定資産の売却による収入	2,339	952
敷金及び保証金の差入による支出	△1,368	△767
敷金及び保証金の回収による収入	2,542	1,790
ソフトウェアの取得による支出	△243	△216
その他	△1	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,853	△3,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△378	△470
配当金の支払額	△3,945	△3,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,323	△4,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,899	1,024
現金及び現金同等物の期首残高	32,953	62,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,853	63,155

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。